

# PBL(課題解決型学習)の協力企業 募集

県立姫路商業高校は、PBL 学習を通じて、生徒が主体的・協働的に、答えのない課題に対して解決するアプローチ方法を身につけるとともに、地元企業の魅力や自己の特性を理解することで、将来地元就職して定着する生徒を育成することを目的に、令和7年度(2025年度)より PBL(課題解決型学習)を導入します。

## 【PBLの概要】

受入先企業が抱える課題(テーマ)等に沿った解決策を生徒が考え、提案します。受入先企業は、その提案に対し、助言や評価を行ってください。

## 【PBLの流れ】

(1) I 期のみ、II 期のみ、I 期と II 期両方の中から参加する時期をお選びください。

(2) PBL 学習は、インターンシップとは異なります。

I 学期 (I 期)			2 学期 (II 期)		
4～5月	課題(テーマ)提示	企業へ訪問	9月	課題(テーマ)提示	企業へ訪問
4～5月	授業時間で解決案を考える		9～10月	授業時間で解決案を考える	
5～6月	1回目解決案プレゼン	企業へ訪問 かオンライン	10月	1回目解決案プレゼン	企業へ訪問 かオンライン
5～6月	授業時間で解決案を考える		10～11月	授業時間で解決案を考える	
7～8月	2回目解決案プレゼン (完結)	企業へ訪問	11～12月	2回目解決案プレゼン (完結)	企業へ訪問
7～8月	活動内容のまとめ (レポート作成)	感想など 企業へ	12～1月	活動内容のまとめ (レポート作成)	感想など 企業へ

※12月か1月に活動発表会を開催します。ご協力いただいた企業・団体の方をご招待します。

## 協力企業さまのメリット(例)

- ・新商品の開発や改良、新サービス、企業・業種が抱える課題に高校生の意見が活用できます。
- ・新商品などは、販売実習を通して、テストマーケティングができます。
- ・高校生が企業の魅力・地域の魅力を SNS やインターネットなどを通して発信します。
- ・地域のコミュニティづくりのお手伝いをします。
- ・社会貢献活動の一環として活用いただけます。
- ・インターンシップへ参加する生徒には、優先的にインターンシップ先として紹介します。

## お問い合わせ先

詳しく内容をお聞きしたい場合は、本校担当者にご連絡ください。

兵庫県立姫路商業高等学校

担当者：武貞・田村・岩本

Tel：079-298-0437

## 実習例(Ⅰ期の4月～7月の場合)

月	内容	生徒の動き	企業さまの動き
4 ～ 5	課題(テーマ)提示	企業訪問(15名程度) 1グループ5名×3 グループ	・生徒と顔合わせ ・PBLのテーマを出題してください。
4 ～ 5	授業で案を考える	意見交換しながら、1 グループごとに案を 考える。	・生徒から質問があればご回答ください。
5 ～ 6	1回目プレゼン	企業訪問か、オンライ ンをご選択ください。	・1グループごとのプレゼンを聞いてください。 (3グループならば3つの案を提示します。) ・プレゼンに対するご意見をください。 ・ブラッシュアップのため助言をしてください。
5 ～ 6	授業で案を考える	意見交換しながらブ ラッシュアップ。	・生徒から質問があればご回答ください。
7 ～ 8	2回目プレゼン (完結)	企業訪問か、オンライ ンをご選択ください。	・1グループごとのプレゼンを聞いてください。 ・プレゼンに対するご意見をください。 ・全体的なご意見・ご感想をください。
7 ～ 8	レポートまとめ	取り組み内容をまと める	-
7	販売実習(校内)	-	・テスト販売する商品をご提供ください。 ・10月か11月に開催する予定の販売実習でもテス ト販売が可能です。
8 ～ 9	レポートを送付	-	・生徒のレポートを持参もしくは送付します。

※12月か1月に活動発表会を開催します。ご協力いただいた企業・団体の方をご招待します。

## 課題・テーマの例

- ・観光客を増やすために企業や地域と連携してイベントを企画・実施する。
- ・地域や企業、団体の魅力をSNS・Webページなどを使って情報発信を行う。
- ・地元の農作物・水産物の魅力や新たな活用法を探り、商品開発をする。
- ・市場を調査する。
- ・中・小規模企業におけるDXへの理解や取り組みを手助けする。
- ・企業での働き手不足解消を考える。
- ・後継者問題を考える。